



角野隼斗 アップライトピアノ・プロジェクト ～Piano for Myself～

はじめて触れた、アップライトピアノ。

自分とピアノと、小さな部屋でこっそり秘密の話をしたことはありますか。

家族のような、親友のような、そんな特別な存在であってほしい。

誰かのための演奏でなく、自分の心と向き合う演奏体験を。

次の世代へピアノの音を紡ぐ、静かなピアノプロジェクトが始まります。

4月1日は **April Dream**

企画概要

「子どもたちに音楽をつなぐ」というコンセプトを中心に定め、この特別なアップライトピアノを設置してくださる主催者を募集します。企業や団体、個人の方でも、どなたでも思いがある方のご応募をお待ちしております。

ピアノの仕様

・機種:スタインウェイ K型

2023年角野隼斗全国ツアー「Reimagine」全公演で使用されたアップライトピアノです。ハンマーと弦の間にフェルト布が設置されていることで、まろやかで内省的な音が響きます。大ホールでの演奏ではなく、ピアノと自分自身、2人きりで対話をしているような音色を奏でられるアップライトです。



第Ⅰ期募集要項

応募期間:2023年5月1日～6月末日

企画実施期間:

2023年8月～2024年3月まで ※左記期間以前の開催をご希望される場合はご相談ください。

応募方法:

5月以降、特設サイト内の応募フォームから企画書をお送りください。

- ・申し込みには指定の申込書その他、企画書・プレゼン資料・動画・画像、その他企画イメージが伝わる素材を自由に添付していただけます。是非アピールしてください。

募集企画:

- ・コンセプトの趣旨にご賛同いただけること。
- ・設置場所での演奏の許諾を得ており、実現可能な企画であること。
- ・原則として無料のイベントであること。

設置条件について:

- ・関係者の目が行き届く場所に設置し、損傷・事故が起きないように管理してください。
- ・ピアノは原則として屋内に設置してください。
- ・設置可能期間は、最大2週間です。

開催報告：

- ・本企画の様子は、主催者様のSNSで自由に発信していただけます。
- ・情報につきましては、当企画特設ページ、および当協会のSNSでも紹介させていただきます。
- ・本企画の開催の様子を動画で記録し、報告用の動画データをご提出ください。
- ・本企画の開催の様子の写真データ、開催レポートをご提出いただきます。

費用負担について

- ・レンタル料金は、無料です。
- ・東京から企画開催地までの運搬費用、イベント期間中のピアノ管理費用は、主催者様で負担ください。なお、運搬会社とスケジュールはこちらで指定させていただく場合がございます。

注意事項：

- ・採択企画数は第I期で、10件程度までを予定しています。
書類審査によって採択企画を決定させていただきます。ご了承ください。
- ・万が一、企画中に故意にピアノを損傷・破損させた場合、修復に必要な費用を賠償いただく場合がございます。
- ・当企画は、趣旨を共有する方への「ピアノの貸し出し」のみを行います。
角野隼斗さんが現地に演奏に行くこと、企画に参加することは予定しておりません。

詳細

<https://corporate.piano.or.jp/news/2023/03/cateenup.html>

4/20に公式WEBサイトオープン予定です。

お問い合わせ先

角野隼斗 アップライトピアノ・プロジェクト実行委員会

本件の問い合わせ先：

一般社団法人 全日本ピアノ指導者(ピティナ) <https://corporate.piano.or.jp/index.html>

担当：黒木真紀子・堀内菜々子

MAIL：public_relations@piano.or.jp / TEL：03-3944-1583

角野隼斗所属事務所：

株式会社イープラス マネジメント・レーベル部 <https://agent.eplus.jp/>

担当：小針 侑也 MAIL：kobari@eplus.co.jp

本プロジェクトに寄せて

Piano for myself

角野隼斗2023”Reimgine”ツアーが数週間前に終演しました。バッハ、カプースチン、ラモー、グ
ルダ、そして僕の作品を通して、クラシック音楽の”再構築”というコンセプトのもと、クラシック音楽
の新しい魅力をお届けしたいという想いで、全国16公演を回りました。

今回2台のピアノで演奏しました。1つはグランドピアノで、もう1つはアップライトピアノ。「アップラ
イトピアノ」の音で、作品を届けるということも、今回のツアーでやりたかったことの一つでした。な
ぜアップライトピアノなのか。そう思われる方もいらっしゃることでしょう。アップライトピアノとい
うと、いつの時代もグランドピアノの代替品として捉えられてきました。しかし僕はどうも、アップライ
トピアノのサウンドが1年ほど前から愛おしくてたまらなくなってしまうのです。

近年ヨーロッパのポストクラシカルシーンを中心に急速な人気を得ているというバックグラウンド
もある中で、僕も数年前にアップライトの音に出会いました。フェルトピアノとも呼ばれるそのサウ
ンドは、今まで聴いたことのないような幻想的、でもそれでいてどこか懐かしい気持ちにもさせてく
れる、不思議なものでした。初めて生でその音に触れたのは、一昨年のパリでした。ハニャ・ラニ
のコンサートに飛び入りさせてもらった時、彼女がカスタムしたアップライトピアノを触らせてもらっ
た時の恍惚は忘れられません。帰国後、僕が普段お世話になっている調律師の按田泰司さんに
即座に相談して、一緒にアップライトピアノを買いに行ったものでした。

今回のツアーでは全国に持って回る必要があったため、新しくアップライトピアノを購入しました。
スタインウェイKモデルの、按田さんと入念に調整と実験を重ねたアップライトピアノと一緒に、全
国を旅したのです。

アップライトピアノの音は、まるで狭い部屋の隅で一人で会話しているような、特別な気持ちにな
ります。フルコンサートグランドピアノを鳴らすのとは真逆の、きわめて私的でありのままの音が
あるのです。自分と対話するように演奏し、お客さんは私的空間に入り込んでいるような疑似体
験ができる。そんな感覚を提供したかったのです。

ツアーが終わって、このピアノは一つの大きな役割を終えました。せっかくなので、このピアノに次なる役割を持ってもらいたい。このアップライトピアノの魅力をたくさんの人に伝えたい。

ストリートピアノが流行して久しいですが、街中の人に立ち止まって聴いてもらうための演奏は、むしろグランドピアノ的であったかもしれません。アップライトピアノの魅力を最大限に活かした、自分との対話に没入できるような演奏空間。そんな可能性が、このアップライトピアノにはあると思っています。

このピアノを無料で、お貸し出しいたします。

みなさんのアイディアで、ぜひこのピアノをさらに活躍させてあげてください。

よろしく申し上げます。

角野隼斗